

さかなとり

一宮西部小・2 小笠原 穂乃果

お父さんといもうととわたしで、さかなとりにおび川へ行きました。

まず、川に入ります。さかなは草のかげにいますので、草かげをあみでガサガサしてさかなを出してあみですくいます。

今日は大きなさかなをとってママに見せるぞと気合を入れて川へ入りました。あみで草かげをガサガサしながらすすんでいくと、川の上に、はいい色のパイプがありました。お父さんが、

「大ものがあるかもしれないぞ。」

と言ったので、わたしはどきどきしました。お父さんに、

「パイプをもち上げるから、あみをかまえて。」

と言われたのであみをかまえました。お父さんがパイプのかた方もち上げると、ほんたいがわからドウルと、どろといっしょに何かが出てきました。いっしゅん、パイプの先があみから外れてしまつてどろのかたまりがおちそうになったけど、わたしが上手くキヤツチしました。とてもおもくておとしそうになったけど、ふんばつてあみをささえました。わたしはびっくりして、

「なまずだ。」

とさげびました。でも、よく見てみると、細長くてよろよろしていたので、うなぎだとわかりました。元気がよくて長くて、さわるとぬるぬるしていました。うなぎは、ふつうにバケツに入れると

よじのぼつてにげるので、もってきた虫かごに入れました。そうすればにげられないし、水の入れかえもらくちんです。

そして、ママに見せたら、

「本当に穂乃果がとったの？」

と、とってもおどろいていました。ママにうなぎを見せることができうれしかったです。

虫かごの中はせまくてかわいそうだったので、川へかえしてあげることになりました。大きくなったうなぎに、また会えるといいなと思いました。